

【循環器内科】

高血圧のお話(3)

血圧が高いとなぜ体に悪いのか

国吉病院

医師 国吉 和重 さん



高血圧の診断は、医療機関の診察室での血圧と家庭血圧を参考にして診断し、診察室で上の血圧が140mmHg以上、下の血圧が90mmHg以上の状態です。家庭血圧は、診察室血圧よりそれぞれ5mmHg低い値を設定していただきます。最近では、家庭血圧がより重要視されていますので、血圧の高い人はぜひ家庭血圧計の購入を勧めます。血圧の高い状態が続くと

次の二つの病気を発症することがあり、注意が必要です。一つは脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血)もう一つは腎不全です。腎不全は初期には自覚症状がありませんが、進行しますと腎臓が機能しなくなり、透析療法が必要になることがあります。この脳と腎臓の二つの臓器の特徴は、直径約5〜6mmの太い血管から約0.1mm以下の細い動脈に枝分かれして

おり、太い血管にかかっていた圧力が、そのまま細い血管にかかり、血管が壊れて脳卒中や腎不全などの重大な病気を引き起こすことにつながることです。すでに高血圧がある人でも、生活習慣の改善や薬で血圧を下げれば、脳卒中や腎不全のリスクが下がります。

医療法人三和会 国吉病院

高知市上町1-3-4

☎088-875-0231

【診療時間】

午前9:00～正午

午後2:00～午後5:00

※土曜日は午前診療のみ

【休診日】土曜日午後・日曜日・祝日

※急患は時間外でも診療いたします

【診療科目】

消化器内科・循環器内科・

消化器外科・緩和ケア内科・

整形外科・内科(ペインクリニック) 他